

# 椿だより

第3号 平成28年 早春号

社会福祉法人 宗得会

横須賀市太田和2-3-21

Tel : 046-857-9598

Fax : 046-857-9894



今年も健康で  
過ごせますように

新年祝賀会



鬼は外!  
福はうち!



当社社会福祉法人宗得会も創設より、  
昨年十月で二十年を迎えました。  
これも利用者の皆様、ご家族、そして地  
域の皆様の賜物だと感謝いたしてお  
ります。

さて、介護保険も六期目に入り、団塊  
の世代が七十五歳以上となる二〇二五  
年までに十年を切りました。横須賀市  
も今年の一月から新しい「総合事業」を  
開始し、予防給付の訪問介護と通所介  
護を移行しました。また、住み慣れた自  
宅でいつまでも暮らしていける為の解決  
策「地域ケアシステム」の構築に向けて、  
横須賀市も急ピッチで体制を強化して  
います。当法人も「今、何が出来るのか  
？」をしっかりと考え、地域に根ざし、地  
域に愛される法人を目指して尽力いた  
します。

今後ともご指導、ご鞭撻のほど宜しく  
お願い致します。

特別養護老人ホーム

横須賀椿園  
施設長 浅葉 統太



ごあいさつ

認知症ケアは新しい流れへ向かっている—その1

ホーム長 大澤憲夫

2004年、京都で国際アルツハイマー病協会の国際会議が開催された。この会議で認知症になったオーストラリア政府の首相・内閣省の第一次官補のクリスティーン・ブライデンさんが、当事者として「認知症を生きる世界」を内側から冷静に分析し、「認知症になれば何もかもわからなくなる」というイメージは認知症の真実をゆがめ、人格を否定する思い込みだと告発した。当時、認知症である彼女の発言は、画期的な出来事だと世界中の話題となった。この会議に触発されてか、日本でも認知症の人が自らの声で思いを語る動きが広がるようになった。また、奇しくも、国際会議から10年を経た2014年10月11日、「日本認知症ワーキンググループ」が発足し、認知症の人本人をメンバーとし、「私たちは認知症、声を届けたい」と認知症の人と社会のために認知症の人自身が活動していく日本初の独立した組織が誕生した。集まったメンバーは、40歳から70歳代、暮らしている地域も都会だったり地方の小さな町だったり様々で、世帯も夫婦ふたり暮らしや子どもと同居、三世帯、一人暮らしとこれも様々、認知症の診断名も様々、認知症の告知を受けてからの期間も1年以内から10年以上と様々。

現在、認知症及び認知症予備軍とされる人が800万人そして、その人たちに関わる家族や近隣住民など、その影響下にある人々も含めると1200万人を超えると推計されている。国も2013年に「認知症施策推進5か年計画(オレンジプラン)」を策定、認知症対策が積極的に取り組まれ、2015年には新たに「認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)」が関係府省庁と共同で策定され、認知症になって

も本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で、自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指すことが安倍首相から表明された。

日本認知症ワーキンググループのメンバーである、佐藤雅彦さんは「国の施策として認知症対策を推し進めても、現実には認知症になったら何もわからない、何もできない、という偏見が今だに岩盤のように残っている。認知症問題は認知症の人が引き起こす問題に、周囲が対処しなければならぬ問題と意識されがち。そのため医療や介護を行う人々による対策は進んでいるが、認知症になった人一人ひとりや家族が希望を持ってよりよく生きるための支援体制が十分に整ったとは言えない現状があります」と強く訴えている。

今後、軽度認知障害(MCI)の人も含め、認知症の人の数が増え続けると予想されているが、認知症への偏見が無くなり、認知症への理解をもっと深めることができれば、認知症の人もその家族も周りの人たちも、明日への強い希望を持って暮らせる社会に変わっていくのだと私は確信している。



恒例の餅つき大会

太田和の三浦正八幡宮へ初詣に行きました。今年もいいことがたくさんありますように。



悪い鬼をやっつけました。



デイサービス



椿園デイサービスの午後のレクリエーションは、ゲームや創作、リハビリ体操をご用意しており、その日の体調や気分に合わせてお選び頂きます。



# 社会福祉法人 宗得会 20年の歩み

社会福祉法人宗得会設立 平成7年2月

横須賀椿園は理事長の父、浅葉椿太郎にちなんで名付けられました。キャベツ畑に忽然と現れた最新デザインの施設で、ご利用者、職員もーからのスタート。理事長自ら施設内の掃除もしました。法人がどんどん大きくなる勢いを予感させるような創成期。犬、猫、ハムスターを飼ってのアニマルセラピーや、庭上を利用したガーデニングを取り入れていたのもこの頃です。ボランティアによるパッチワーク制作は、現在もすてきな作品で園内を彩っています。



特別養護老人ホーム  
横須賀椿園開設

平成7年10月

平成8年1月 短期入所事業開始

平成8年4月 デイサービス事業開始



平成9年4月 在宅介護支援センター開設

平成10年4月 訪問入浴事業開始



平成11年8月 居宅介護支援センター開設



グループホームつばき開設

平成15年4月

グループホームの開設は近隣の方々に認知症施設建設の理解をお願いするところから始まりました。認知症ケアに関しては素人同然の職員たちがホーム長の下に研修を重ね、日々の実践から学び、礎を築きました。ホームの外に出てしまったご利用者を捜したり、一緒に何時間も歩き続けたり、今では笑い話として語られるエピソードも。横須賀一番と自負する建物に負けない、横須賀いえ、全国一番のケアを目指しています。

西第一地域包括支援センター開設  
(在宅介護支援センターより移行)

平成18年10月

デイサービスセンター椿が短時間制から認知症対応型へ転換することが決まったとき、それまでの短時間制サービス、それまでのご利用者をけっして切り離したくないと切望したのは現場の職員たちでした。その熱い思いが短時間制・認知症対応型の2足のわらじをはく画期的なデイサービスを誕生させたのです。

平成20年11月 デイサービスセンター椿  
短時間制通所介護開設

平成23年4月 デイサービスセンター椿  
認知症対応型通所介護開設

## 勤続20年表彰の職員



横須賀椿園看護課  
西原 英子



グループホームつばき  
榎井 真理子



グループホームつばき  
山田 美子



## デイサービスセンター椿

どうして私たちの日常生活で「食」が大切なのか！

人気の椿定食

管理者 榊井淑子

私たちは、毎回の昼食メニューを一生懸命に考え、買い物をし、料理を作ります。そして、皆さんと一緒に食べて、片付けて、寛ぎます。この循環は人が生きる上で一番身近で自然な循環です。このような瞬間の積み重ねが、個々人の「心」に「他人」を信じる力を芽生えさせ、料理しながら会話し、香りや音などが自然に伝わって、豊かな人間関係を育むのだと考えています。

デイサービスセンター椿では、「食」を通じて認知症の症状が少しでも和らいで、ご利用者とご家族の皆様が穏やかな在宅生活ができますよう心掛けております。



椿グルメカレー



プレミアム和風パスタ



極上海鮮丼



チキンピカタ椿風

### 行事予定

3月 ひなまつり  
お花見  
家族会(グループホーム)  
認知症の人の介護者教室  
(デイサービスセンター椿)

4月 家族会(特養)

5月 母の日  
ふれあいフェスティバル(特養)

6月 父の日

### 西第一地域包括支援センター

西第一地域包括支援センターでは、様々な介護予防教室を開催しております。3月から椿園の2階会議室で、定例の介護予防教室も合わせて開催する事になりました。皆様お誘い合わせの上ご参加下さい。

時間:10時~11時30分

3月 1日(火) 栄養教室  
3月 8日(火) 体操教室  
3月 15日(火) 認知症サポーター養成講座  
4月 12日(火) 体操教室  
4月 26日(火) 虐待・成年後見人制度講座  
5月 10日(火) 体操教室  
5月 17日(火) 認知症サポーター養成講座  
6月 14日(火) 体操教室  
6月 28日(火) 口腔機能向上教室  
7月 5日(火) 栄養教室  
7月 12日(火) 体操教室  
7月 19日(火) 認知症サポーター養成講座  
9月 6日(火) 栄養教室  
9月 13日(火) 体操教室  
9月 20日(火) 認知症サポーター養成講座

### 編集後記

社会福祉法人宗得会が横須賀市太田和の地に誕生して20年。駐車場に植えた桜も今では見事な大木となり、春には淡いピンクの雲のように空を彩ります。お近くをお通りの際はぜひご観賞下さいませ。

(椿姫Y)



\* 広報誌の写真は、ご本人・ご家族の了承を頂き掲載させて頂いております。